

御注意 21		平成 年月日 税務署長殿		所管	業種目	概況書	要否	別表等	※ 税務署 処理欄	白色申告	一連番号				
納税地		事業種目						整理番号							
電話() -		期末現在の出資金の額						事業年度(至)							
(フリガナ) 法人名		経理責任者自署押印						売上金額							
(フリガナ) 代表者自署押印		旧納税地及び旧法人名等						申告年月日							
代表者住所		添付書類		貸借対照表、損益計算書、損益金処分表、勘定科目内訳明細書、事業概況書、組織再編成に係る契約書等の写し、組織再編成に係る移転資産等の明細書				通信日付印		確認印	府指定	局指定	指導等	区分	
								年月日							
								申告区分							
								法人税		期限後修正	地方法人税	期限後修正			

平成 □□ 年 □□ 月 □□ 日 事業年度分の法人税

申告書

申告書

平成 □□ 年 □□ 月 □□ 日 課税事業年度分の地方法人税

翌年以降送付要否	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	適用額明細書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
税理士法第30条の書面提出有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	税理士法第33条の2の書面提出有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

この申告書による法人税額の計算

所得金額又は欠損金額(別表四「47の①」)	1	十億 百万 千 円	控除税額の計算	十億 百万 千 円	
法人税額(45)又は(48)	2		外國税額(別表六(一)「16」)		
法人税額の特別控除額(別表六(六)「27」+別表六(七)「16」+別表六(八)「10」+別表六(九)「22」+別表六(十)「23」+別表六(十二)「30」+別表六(十三)「24」+別表六(十四)「22」+別表六(十五)「25」+別表六(十六)「25」+別表六(十七)「24」+別表六(十八)「36」+別表六(十九)「16」+別表六(二十)「22」+別表六(二十一)「13」+別表六(二十二)「21」+別表六(二十三)「24」+別表六(二十四)「12」)	3		計(12)+(13)	14	
差引法人税額(2)-(3)	4		控除した金額(10)	15	
リース特別控除取戻税額(別表六(二十六)「31」)	5		控除しなかった金額(14)-(15)	16	
土地益譲渡税額(別表三(二)「27」)+別表三(二)「25」+別表三(三)「20」)	6	0 0 0	土地譲渡税額(別表三(二)「27」)	17	0
同上に対する税額(17)+(18)+(19)	7		同(別表三(二)「28」)	18	0
法人税額計(4)+(5)+(7)	8	0 0 0	同(別表三(三)「23」)	19	0 0
仮装経理に基づく過大申告の更正に伴う控除法人税額	9		この還の申付に金による額	20	
控除税額(((8)-(9))と(14)のうち少ない金額)	10		所得税額等の還付金額(16)	21	
差引この申告により納付すべき法人税額(8)-(9)-(10)	11	0 0	欠損金の繰戻しによる還付請求税額	22	

この申告書による地方法人税額の計算

課税標準法人税額(8)+(8の外書)	27	十億 百万 千 円	この申告による還付金額	32	十億 百万 千 円
所得地方法人税額(50)	28		この申告前との所得額(51)	33	
外國税額の控除額(別表六(二)「48」)	29		この申告により納付すべき法人税額(58)	34	
仮装経理に基づく過大申告の更正に伴う控除地方法人税額	30	0 0 0	減少する還付請求税額(55)		
差引確定地方法人税額(28)-(29)-(30)	31	0 0	欠損金又は災害損失金等の当期控除額(別表七(一)「4」の計+別表七(二)「9」若しくは[21]又は別表七(三)「10」)	25	
剩余金・利益の配当(剩余金の分配)の金額			翌期へ繰り越す欠損金又は災害損失金(別表七(一)「5の合計」)	26	
残余財産の最後の分配又は引渡しの日	平成 年月日	決算確定の日	平成 年月日		
法 0301-0102					
税 理 士 署 名 押 印					